

平成 17 年度研究成果報告会

平成 17 年度研究成果報告会は、7 月 15 日（土）10:00-12:00、特別支援教育センター 2 階研修室において開催され、特別支援教育に携わる教員、行政担当者及び障害児施設職員、保護者等 81 名の参加者を得ました。

まず、小学校、特殊学級、養護学校で活躍されているセンター研究員による研究発表が行われました。揖斐郡大野町立北小学校教諭の森永恵先生からは、「特別支援教育コーディネーターの実際」と題して、小学校の特殊学級担任として特別支援教育コーディネーターを実践されている立場から、校内委員会の活動プロセスや事例を基に、特別支援教育コーディネーターの組織的な位置づけに必要な取り組みを紹介していただきました。

岐阜大学教育学部附属小学校教諭の大川はな子先生からは、「A さんの友達と一緒に活動する姿を願って」と題して、生活単元学習における友達とのかかわりの育成を目標とした教材・教具や環境設定の工夫について紹介していただきました。

岐阜市立岐阜養護学校教諭の佐合妙子先生からは、「場や状況に応じたコミュニケーション能力を高める指導の在り方」と題して、コミュニケーションタイムの設定とロール・プレイによる実践から、養護学校における集団を生かした日常生活に生きるコミュニケーション指導について紹介していただきました。

以上の研究発表に対して、岐阜県教育委員会特別支援教育課課長補佐の安田和夫先生からは、特別支援教育の推進におけるそれぞれの実践の特徴や参加者で共有すべき成果についてご助言をいただき、今後の実践を励ましていただきました。

最後に、ミニ講座として、岐阜大学教育学部特別支援教育講座助教授の坂本裕先生から、「知的障害養護学校におけるボランティア養成に関する調査研究」を基に、ボランティア養成の現状と課題について最前線の情報を提供していただきました。

学期末のご多忙なところ、多くの参加者を得て、研究成果を共有できたことに感謝いたします。

平成 18 年 7 月 15 日

岐阜大学教育学部附属特別支援教育センター長

大井修三